



アサヒグローバル株式会社 代表取締役会長  
ゴールドトラスト株式会社 取締役会長  
ゴールドエイジ株式会社 取締役会長

文／久保川 議道  
text:Yoshimichi Kubokawa

## 誰でも簡単に、ノーリスクで…

全ての「会長のひとりごと」がWEBで読める！  
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新！！

くぼかわよしみち.com

検索



asahiglobal.co.jp  
super-chintai.com  
goldtrust.co.jp  
otona-souzoku.com  
goldage.co.jp  
kubokawayoshimichi.com

『100億円の資産』をつくる方法。100万円を100億円にした『超資産形成メソッド』。日本人の0.02%だけが知っている、簡単、低リスクで財産をつくる方法。30年で資産ゼロから100億円越えの財産を築いた『名古屋の資産形成の Carlson』が語る…。

これは恥ずかしながら私の本の題名と本の帯に印刷されている文章をそのまま転記しました。こんな本を書いて、こんなセミナーをもう2年以上、東京・名古屋・大阪で開催しています。そして私のやり方や考え方に賛同していただいて『100億円倶楽部』に入会していただいた人達が120名以上お見えなんです。そして今現在、10億円・20億円・30億円・50億円規模の財産を実際につくっているという実績があるのです。

私の性格は目立つことが嫌いですし、人様に何かを教えるなんて、そんな恥ずかしいことは本当に絶対にしたくないのです。しかしそうは言っても反面、正しいことは正しいと言いたいですし、おせっかいだとは思っても人様が幸せになつたりお金持ちになつたりすることは良いことです。から、こんな恥ずかしい本を書いてセミナーを年間50回も開催しています。

日本にはお金持ちがほとんどいません。その理由は戦後のGHQの政策です。①

財閥解体②農地解放で会社と個人のお金持ちがいなくなりました③兄弟平等相続で家族が争いますから家族制度も崩壊してしまいました④そして世界の異常に高い税制度で国民1人1人から税金を絞り取ります。収入の多い人ほど、財産の多い人ほど税率は上がります(所得税55%相続税55%贈与税55%など)。まあこれでは日本にお金持ちがいけないのは当然ですね(もうこれでは二度と戦争はできません。それがGHQの目的でした)。

私が『100億円倶楽部』をつくって、300名の会員さんに100億円ずつ財産を作つたとします。すると合計3兆円です。私の目標は世界で世界唯一の『3兆円の超資産家団体』をつくること。夢のような話ですが私が9歳でお亡くなりになる、あと20年間で実現したいと計画しています(20年間では3兆円は無理ですが、3兆円の現性は20年あれば十分に証明できます)。

そして私は100億円倶楽部の創設者で教える先生ですから、私の実力や実績がなければ、イイカゲンチャツ、サギ、ダマシ、ホラフキとなります。しかし、私と家内(他界)が30年以上かけて作った個人資産(会社の資産は除く)は今現在約『150億円』(土地・建物の初期取得原価)。年間収入は『10億6,700万円』家賃収入・その他。平均家賃収入1戸『6万5,000

円』で計算すると『1,370戸』の賃貸物件の所有で、入居率は『99%』となります。

家内は贅沢には興味はなくて土地を買うことが好きでしたし、私はお金を使う時間がなくて働き続けて、ゴルフもマージャンもクラブ活動などの人とお付き合いは一切なし。会社の仕事も一生懸命にしました。が、家内と2人で1つ1つマンションや高齢者住宅を建て続けてきて、今現在のノウハウと実績をつくりました。だから人に教えることができるのです。

私の100億円づくりのノウハウは①日本にしかない世界二有利な税制度を利用すること(木造22年などの世界最短の減価償却・日本人しかできないテキサス戸建ての4年償却・建物を建てれば土地の固定資産税は6分の1など)②世界二有利な借入金(金利1%・15年35年固定・保証人なし・別担保などの借入金などは世界中で日本だけにしかありません)③税率55%の相続税もゼロにできる(土地・建物の評価減・借入金などの負の資産との相殺)④⑤⑥⑦⑧⑨⑩…。

これらを日本人しかできない『日本独自の財産づくり』として私は皆さんにお教えしています。そして私は疑うことなく、日本でお金持ちになるのは私のこの方法以外にはないと確信しています。お金持ちになりたい方は是非セミナーにご参加ください。

わくわく

# 夢

## ニュース【土地活用】

落ち着いた住宅地の一角に、  
和の伝統と、欧米のモダンスタイルを  
融合させたサ高住があります。

30戸

古き良き日本の伝統美と現代の建築技術がコラボレーションした、  
静けさとあたたかみを感じる建物です。

2021

1月

No.097

